

【目的】

医薬品の適正使用には患者とその家族の理解と協力、医療関係者からの丁寧な説明と情報提供が必要不可欠であるため、ポリファーマシーに関する啓発を行う。

【取組概要】

患者アンケートの実施や、啓発用チラシ等を通じて、ポリファーマシーに関する理解を深めるとともに、ポリファーマシー解消に向けた機運の醸成を図る。

●患者アンケート

- ・本県では、服薬情報の一元化を図り、お薬手帳の正しい活用を促進するため、75歳以上の重複服薬者に対して、お薬手帳ホルダー及びリーフレットを送付した。
- ・当該お薬手帳の活用促進事業の有効性を高めるとともに、ポリファーマシーに対する意識を高めるために、患者に対してアンケートを行う。

●啓発用チラシ・啓発用シール

- ・一定数以上の医薬品を処方されている65歳以上の患者の来局時に、啓発用チラシを用いてポリファーマシーについて説明することにより、ポリファーマシーに関する理解を深めるとともに、ポリファーマシー解消に向けた機運の醸成を図る。
- ・併せて当該患者のお薬手帳に、啓発用シールを貼付することで、一時的な意識付けではなく、アイキャッチ効果により、お薬手帳を使用するたびに意識づける。